

⑧紅葉の名所日光いろは坂における渋滞対策 ～駐車場閉鎖による社会実験～

受賞機関 栃木県 日光土木事務所

キーワード 日光、社会実験、いろは坂、紅葉、観光地、渋滞、渋滞緩和、情報発信、YouTube、SNS、ライブカメラ、臨時駐車場

全建賞審査委員会の評価ポイント

従来のソフト対策では抜本的な解決に至らなかった、観光地における著しい交通渋滞に対し、日光市、東武グループや地元の観光事業者との合意形成を図った上で渋滞の起点である県営駐車場の閉鎖という思い切った社会実験の実施とSNSやマスメディアを活用した広範な周知により、一定の渋滞緩和効果を得た点が評価された。

1. はじめに

日光市には、世界遺産に登録されている日光東照宮、華嚴の滝や中禅寺湖等の観光スポットが点在している。中でも、「いろは坂」は、日光市街と奥日光地域を48のカーブで結び、紅葉の名所として多くの観光客が通行する路線である。行楽シーズンには著しい交通渋滞が発生し、来訪者の満足度が下がるだけでなく、市民生活や緊急車両の通行に影響を及ぼす要因となっている。

このため、日光地域交通対策検討会を設置し、効率的かつ効果的な渋滞対策を検討している。

2. 事業の概要

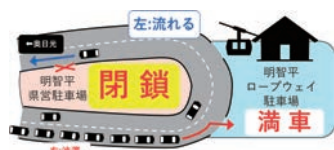
行楽シーズンにおけるいろは坂の渋滞は、道路の左側にある明智平^{あけち だいら}県営駐車場と右側にある民間のロープウェイ駐車場の入庫待ちの車が2車線を同時に塞ぐことで発生している。特に秋の行楽シーズンの渋滞は著しく、地域の観光業及び市民生活に大きな負の影響を与えている。

そこで社会実験として、道路左側の明智平県営駐車場を閉鎖し、左車線が車の入庫待ちで塞がることを防ぐことで、華嚴の滝や中禅寺湖方面へ向かう車と右側にある民間ロープウェイ駐車場の入庫待ちの車を分離させた。

また、地元自治会や観光業との合意形成を図った上で、ライブカメラ映像、駐車場の満空情報及びSNS（X）等の情報を集約した「日光渋滞サイト」を開設し、混雑状況等を広く発信した。



明智平駐車場の渋滞メカニズム



明智平県営駐車場閉鎖の社会実験の狙い



いろは坂の紅葉と渋滞

3. 事業の成果

社会実験の結果、いろは坂の左車線での渋滞が解消され、車両がスムーズに通行できるようになった。また、令和6年秋の行楽シーズンにはいろは坂を登り切るまでに168分を要したが、令和7年の社会実験時には59分となり、100分以上短縮されたことから、一定の渋滞緩和効果が確認された。なお、渋滞がない場合でも通常25分程度を要する。



スムーズに進む左車線とロープウェイ駐車場の入庫待ちで滞留する右車線（令和7年11月2日午前9時頃）

4. おわりに

日光地域は、地形条件等からハード対策には限界がある。そのため、マイカーから公共交通利用への転換や混雑する日時を避けられるようにする工夫など、移動手段の転換と来訪時間の分散に向けた対策を検討する必要がある。

今後も関係機関と連携し、市民生活や緊急車両の通行への影響を軽減しながら、日光を訪れる観光客の利便性向上や地域の魅力向上に向け、渋滞対策を継続して進めていく。